

【2026年度】社会教育基本計画 評価シート

基本理念 学びや活動による「自分づくり・生きがいくり・つながりづくり・まちづくり」の推進

取組内容及び評価・検証

年度当初に記載

取組実施後（12月）に記載

計画等	基本方針	施策の方向性	取組内容	取組状況	所管課評価			
					現状分析	今後の方向性	検証結果	自己評価の理由
記載方法		「施策の方向性」を選択（計画P17）※プルダウンリスト	①新規継続変更※プルダウンリスト 「施策の方向性」の視点で取組（事業）を記載 ②取組（事業名） ③目標（目的） ④対象 ⑤内容 ⑥指標（目標値）※あれば ⑦その他特記すべき事項	参加人数・回数・参加率など数値化できるものは、実績数値を記載 「取組内容」に指標（目標値）を記載した場合は、必ず実績数値を記載	取組の「現状分析」を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」を踏まえ、「今後の方向性」の検討を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」「今後の方向性」の結果を受けて、「検証結果」の評価記号を選択 ※プルダウンリスト	評価の理由、成果や課題、今後の改善点や方向性を記載
地域コミュニティビジョン	自分づくり	① 情報提供、情報発信の充実を図ります	継続 1 ②情報発信 ③多様な人にそれぞれにあった手段で情報を届ける ④住民、関係人口になりうる方 ⑤ア)ホームページ「新しい地域コミュニティ」の更新 イ)各地域コミュニティ組織から毎月発行されるコミュニティだよりや不定期に発行される便りや行事案内のチラシ ウ)各地域コミュニティ組織からの防災行政無線を活用したお知らせ ⑥ア)毎月更新 イ)毎月発行 ウ)都度					
	自分づくり	② 多様なニーズに対応した学びや活動の機会の充実を図ります	継続 2 ②各地域コミュニティ組織による、地区住民のニーズに対応した研修会 ③住民から聞き取った困りごとや地域資源に関連する研修会を開催し、課題解決の糸口とする ④住民、関係人口になりうる方 ⑤各種研修会の開催 ⑥全29地域コミュニティ組織研修会開催					
	自分づくり	② 多様なニーズに対応した学びや活動の機会の充実を図ります	継続 3 ②住民自治組織、行政、中間支援組織、関係団体、事業所など、連携した地域コミュニティ組織の事業実施 多様なニーズに対応するため、多様な主体が連携し、事業を実施する。 ④住民自治組織、行政、中間支援組織、関係団体、事業所 ⑤多様な主体が参画する協働事業の実施 ⑥協働事業数全組織1事業以上（2029年度までに）					
	つながりづくり	⑤ 学ぶもの同士が交流できるような機会の創出に努めます	継続 4 ②コミュニティセンター管理業務 ③地域コミュニティ組織の活動の拠点となるコミュニティセンターを良好な状態で維持管理し、地域コミュニティ組織及び貸館利用者の快適な利用に資する。 ④市内29地区コミュニティセンター ⑤29地区コミュニティセンターの維持管理 ⑥良好な状態での維持管理					
	まちづくり	⑧ 多様な機関、団体等との連携を進めます	継続 5 ②各地域コミュニティ組織による、住民参加型事業の開催 ③多様な人が参加・参画する事業を実施することで、つながりづくりを推進する ④住民、関係人口になりうる方 ⑤地域コミュニティ組織による事業の実施 ⑥各地区の地域づくり計画に沿った事業実施					
	生きがいくり	④ 地域住民の学びの場となる社会教育施設等を利用しやすい環境を整えます	継続 6 ②ジェンダーギャップ対策 ③性別役割分担意識の解消 ④市民、家庭、事業所、学校、行政 ⑤性別役割分担意識がなお根深いことへの気付きや、対話を含む学習機会を提供する。					
	つながりづくり	⑤ 学ぶもの同士が交流できるような機会の創出に努めます	継続 7 ②人権教育・啓発事業 ③すべての人が人権侵害を受けることなく穏やかに暮らすため、人権教育や啓発を進めていく。 ④全市民 ⑤人権について考える機会の創出 人権教育推進員による学習機会の提供 各種団体との連携					
男女共同参画プラン	自分づくり	② 多様なニーズに対応した学びや活動の機会の充実を図ります	継続 6 ②ジェンダーギャップ対策 ③性別役割分担意識の解消 ④市民、家庭、事業所、学校、行政 ⑤性別役割分担意識がなお根深いことへの気付きや、対話を含む学習機会を提供する。					
人権教育・啓発事業	自分づくり	③ 社会情勢の変化等に対応した学びや活動の機会を検討します	継続 7 ②人権教育・啓発事業 ③すべての人が人権侵害を受けることなく穏やかに暮らすため、人権教育や啓発を進めていく。 ④全市民 ⑤人権について考える機会の創出 人権教育推進員による学習機会の提供 各種団体との連携					

計画等	基本方針	施策の方向性	取組内容		取組状況	所管課評価			
						現状分析	今後の方向性	検証結果	自己評価の理由
記載方法		「施策の方向性」を選択（計画P17）※プルダウンリスト	①新規継続変更※プルダウンリスト	「施策の方向性」の視点で取組（事業）を記載 ②取組（事業名） ③目標（目的） ④対象 ⑤内容 ⑥指標(目標値)※あれば ⑦その他特記すべき事項	参加人数・回数・参加率など数値化できるものは、実績数値を記載 「取組内容」に指標（目標値）を記載した場合は、必ず実績数値を記載	取組の「現状分析」を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」を踏まえ、「今後の方向性」の検討を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」「今後の方向性」の結果を受けて、「検証結果」の評価記号を選択 ※プルダウンリスト	評価の理由、成果や課題、今後の改善点や方向性を記載
多文化共生推進プラン	つながりづくり	③ 社会情勢の変化等に対応した学びや活動の機会を検討します	継続	8 ②多文化共生 ③暮らしやすいと感じる外国人市民を増やすため、コミュニケーション支援、生活支援、多文化共生の意識啓発と地域づくりに取り組む。 ④外国人市民 ⑤日本語、日本文化を学ぶ機会の充実 外国人相談窓口の充実 外国人市民が気軽に集まれる居場所と出番の創出					
		⑦ 地域にある各種団体等の活動の支援を行います							
	まちづくり	③ 社会情勢の変化等に対応した学びや活動の機会を検討します							
第2期スポーツ推進計画	自分づくり	⑤ 学ぶもの同士が交流できるような機会の創出に努めます	継続	9 ②「とよおかスポーツフェスティバルの開催」 ③スポーツに親しみ、スポーツを通じた健康づくりを促進する ④市民 ⑤市民参加交流スポーツイベントの開催					
	生きがいづくり								
	つながりづくり	⑦ 地域にある各種団体等の活動の支援を行います	継続	10 ②「スポーツ推進委員と地域コミュニティ組織との連携」 ③スポーツに親しみ、スポーツを通じた健康づくりや地域における「つながり」を促進する ④市民 ⑤スポーツ推進委員と地域コミュニティ組織との連携を通じて地域のスポーツ活動における人材の育成					
第2期文化芸術振興計画	つながりづくり	① 情報提供、情報発信の充実を図ります	変更	11 ②「豊岡アートシーズンのポータルサイトの構築での情報発信」 ③文化芸術団体等の連携・交流が生まれるとともに、市民の文化芸術に対する関心が高まる ④地域で文化芸術活動に携わる団体、個人 ⑤ポータルサイトを構築し、地域住民が文化芸術に関する情報を収集、発信できる仕組みを作るポータルサイトを活用し、地域住民が文化芸術に関する情報を収集、発信できる ⑥ポータルサイト登録団体数					
障害者福祉計画	自分づくり	② 多様なニーズに対応した学びや活動の機会の充実を図ります	継続	12 ②手話奉仕員養成研修事業 ③聴覚障害者等との交流活動の促進 ④市内在住、在勤、在学の16歳以上の者 ⑤手話奉仕員養成講座の開催 ⑥修了者10名					
	生きがいづくり								
	生きがいづくり	③ 社会情勢の変化等に対応した学びや活動の機会を検討します	継続	13 ②障害者スポーツ大会、障害者スポーツ・チャレンジ大会等の開催 ③障害者の社会参加 ④障害者 ⑤障害者スポーツ大会、障害者スポーツ・チャレンジ大会等の開催					
	つながりづくり								

計画等	基本方針	施策の方向性	取組内容		取組状況	所管課評価			
						現状分析	今後の方向性	検証結果	自己評価の理由
記載方法		「施策の方向性」を選択（計画P17）※プルダウンリスト	①新規継続変更※プルダウンリスト	「施策の方向性」の視点で取組（事業）を記載 ②取組（事業名） ③目標（目的） ④対象 ⑤内容 ⑥指標（目標値）※あれば ⑦その他特記すべき事項	参加人数・回数・参加率など数値化できるものは、実績数値を記載 「取組内容」に指標（目標値）を記載した場合は、必ず実績数値を記載	取組の「現状分析」を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」を踏まえ、「今後の方向性」の検討を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」「今後の方向性」の結果を受けて、「検証結果」の評価記号を選択 ※プルダウンリスト	評価の理由、成果や課題、今後の改善点や方向性を記載
第5次とよおか教育プラン	つながりづくり	⑧ 多様な機関、団体等との連携を進めます	継続	14 ②コミュニティ・スクールを核とした地域学校協働活動の充実 ③地域全体で子どもを育てる「地域とともにある学校づくり」の充実 ④学校・保護者・地域関係者等 ⑤学校・保護者・地域関係者等で組織する学校運営協議会において、めざす子どもの姿や学校の課題を共有するとともに、課題解決に向けた地域学校協働活動の充実を図る。					
	つながりづくり	⑦ 地域にある各種団体等の活動の支援を行います	継続	15 ②青少年健全育成活動の支援・推進 ③青少年を非行から守り、健全な育成を図る。 ④豊岡市青少年健全育成地区会議、青少年健全育成地区会議(22地区) ⑤「豊岡市青少年健全育成地区会議連絡会」を組織し、地域・家庭・学校園・行政が連携、協働して青少年健全育成に取り組む。 子ども、保護者を対象にした適切なインターネット、スマホ利用についての啓発活動を推進する。 2026年度補助金 2,659千円					
	まちづくり		継続	【予定事業等】 ・スマホ・ケータイ安全教室講師派遣事業 講師 ソーシャルメディア研究会学生 ※市内小中学校5校 ・青少年の適切なインターネット利用に関する講演会「進化するSNS～親子で考えるSNSとのつきあい方～（仮）」講師：石川千明氏 ※豊岡市PTA連合会との共催 ・人権啓発活動「市民ふれあいのつどいパート2」後援 ・夏休みラジオ体操への参加推進 ・災害に備えた市民総参加訓練への参加推進 ・「豊岡あいさつA7運動」、「早寝早起き朝ごはん」、「読書」の普及啓発 ・地域・地区での見守りパトロールの実施					
	つながりづくり	⑦ 地域にある各種団体等の活動の支援を行います	継続	16 ②PTAとの協働と活動支援 ③PTA活動による子供たちの健全な育成 ④豊岡市PTA連合会、各単位PTA ⑤地域の実情に応じた柔軟かつ多様で有意義な活動となるよう支援する。 学校・家庭・地域が互いに連携し、直面する課題の共有、課題解決に向けての意見交換や研修会の開催など、市PTA連合会と連携・協働して取組を進める。 2026年度補助金 372千円					
	まちづくり		継続	【予定事業等】 ・PTCAあいさつ運動推進強調月間(5・11月) ・PTAリーダー研修会「子どものことを考える会」講演会「進化するSNS～親子で考えるSNSとのつきあい方～（仮）」講師：石川千明氏 ・PTCA地区別研究大会 市民ふれあいのつどいパート2（豊岡の子どもを育てる会）講演会					
	子ども会活動	⑦ 地域にある各種団体等の活動の支援を行います	継続	17 ②青少年健全育成事業 ③子どもの健全な育成 ④地域子ども会連絡協議会 ⑤「豊岡市子ども会連絡協議会」の活動支援のため補助金を交付し、その補助金を5つの地域子ども会連絡協議会（豊岡・城崎・日高・出石・但東）へ配分する。 各地域子ども会連絡協議会は、ファミリーキャンプ、お菓子づくり教室、ハイキング、将棋大会等それぞれ独自の活動を行っている。 2026年度補助金 1,390千円					
	生涯学習の推進	④ 地域住民の学びの場となる社会教育施設等は利用しやすい環境を整えます	継続	18 ②生涯学習の推進 ③生涯学習の機会、学習の場の提供及び人材の育成、生涯学習に関する情報収集と提供を通して生涯学習の推進と市民の交流促進を図る。 ④全市民 ⑤生涯学習サロンでの講座を活用した市民の生涯学習活動の推進 指定管理者である但馬高齢者生きがい創造協議会により、生きがい創造学院の講座、教室を開催 但馬高齢者生きがい創造協議会の自主事業の開催					
	まちづくり	⑥ 学びや活動の成果を生かせる仕組みづくりを検討します							

計画等	基本方針	施策の方向性	取組内容		取組状況	所管課評価			
						現状分析	今後の方向性	検証結果	自己評価の理由
記載方法		「施策の方向性」を選択(計画P17) ※ブルダウンリスト	①新規継続変更※ブルダウンリスト	「施策の方向性」の視点で取組(事業)を記載 ②取組(事業名) ③目標(目的) ④対象 ⑤内容 ⑥指標(目標値)※あれば ⑦その他特記すべき事項	参加人数・回数・参加率など数値化できるものは、実績数値を記載 「取組内容」に指標(目標値)を記載した場合は、必ず実績数値を記載	取組の「現状分析」を行い、該当する選択肢を選択 ※ブルダウンリスト	「現状分析」を踏まえ、「今後の方向性」の検討を行い、該当する選択肢を選択 ※ブルダウンリスト	「現状分析」「今後の方向性」の結果を受けて、「検証結果」の評価記号を選択 ※ブルダウンリスト	評価の理由、成果や課題、今後の改善点や方向性を記載
生涯学習の推進	自分づくり	② 多様なニーズに対応した学びや活動の機会の充実を図ります	新規	19 ②社会教育・生涯学習人材バンク運営事業 ③多様な人材を市民から発掘し、市民一人一人の知識や経験を活かし、世代・地域を越えて学び合えるしくみを構築する。 ④講師登録:市内在住・在学・在勤 講座利用:5名以上の団体 ⑤講座情報一元化 講師となる人材の発掘・育成 講座利用希望団体と講師とのマッチング ⑥講師登録者数:40名(団体) 講座利用回数:20回 自主講座開催回数:10回					
	生きがいづくり	② 多様なニーズに対応した学びや活動の機会の充実を図ります							
	つながりづくり	⑤ 学ぶもの同士が交流できるような機会の創出に努めます							
	まちづくり	⑥ 学びや活動の成果を生かせる仕組みづくりを検討します							
図書館未来プラン	自分づくり	① 情報提供、情報発信の充実を図ります	継続	20 ②図書購入 ③図書館サービスの充実 ④全ての市民 ⑤電子図書を含む図書を購入し市民に提供する ⑥年間6,700冊(うち電子500冊)購入予定					
	まちづくり	② 多様なニーズに対応した学びや活動の機会の充実を図ります							
	自分づくり	④ 地域住民の学びの場となる社会教育施設等は利用しやすい環境を整えます	継続	21 ②外部講師・団体による講座・展示 ③市民の課題を解決する場となっている ④高校生以上 ⑤終活講座・起業支援等 ⑥年数回					
	生きがいづくり	② 多様なニーズに対応した学びや活動の機会の充実を図ります							
	つながりづくり	⑤ 学ぶもの同士が交流できるような機会の創出に努めます							
	自分づくり	⑥ 学びや活動の成果を生かせる仕組みづくりを検討します	継続	22 ②図書館ボランティア活動 ③図書館サービスの向上 ④高校生以上 ⑤児童ボランティア、朗読ボランティア、点訳ボランティア、修理ボランティア、配架ボランティア ⑥研修会を毎月実施(児童、朗読、点訳)					
	生きがいづくり	⑤ 学ぶもの同士が交流できるような機会の創出に努めます							
	つながりづくり	⑤ 学ぶもの同士が交流できるような機会の創出に努めます							

計画等	基本方針	施策の方向性	取組内容		取組状況	所管課評価			
						現状分析	今後の方向性	検証結果	自己評価の理由
記載方法		「施策の方向性」を選択（計画P17）※プルダウンリスト	①新規継続変更※プルダウンリスト	「施策の方向性」の視点で取組（事業）を記載 ②取組（事業名） ③目標（目的） ④対象 ⑤内容 ⑥指標（目標値）※あれば ⑦その他特記すべき事項	参加人数・回数・参加率など数値化できるものは、実績数値を記載 「取組内容」に指標（目標値）を記載した場合は、必ず実績数値を記載	取組の「現状分析」を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」を踏まえ、「今後の方向性」の検討を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」「今後の方向性」の結果を受けて、「検証結果」の評価記号を選択 ※プルダウンリスト	評価の理由、成果や課題、今後の改善点や方向性を記載
図書館未来プラン	自分づくり	⑥ 学びや活動の成果を生かせる仕組みづくりを検討します	継続	23 ②作品展示会 ③図書館が活躍する市民の発表の場として利用される ④全ての市民(団体サークル含む) ⑤本館「いいいの間」「展示ホール」を絵画等の展示会場とする ⑥随時受付					
	生きがいづくり	⑥ 学びや活動の成果を生かせる仕組みづくりを検討します							
	つながりづくり	⑦ 地域にある各種団体等の活動の支援を行います							
	つながりづくり	⑤ 学ぶもの同士が交流できるような機会の創出に努めます	継続	24 ②読書会 ③様々な本に触れる機会を増やす ④高校生以上 ⑤自分が好きな本、他の人にも読んで欲しい本などを紹介しあう ⑥年4回					
	つながりづくり	⑦ 地域にある各種団体等の活動の支援を行います	継続	25 ②としょかんへいこう！ ③図書館が活躍する市民の発表の場として利用される ④全ての市民(団体サークルを含む) ⑤本館「いいいの庭」「いいいの間」をワークショップやフリーマーケット等の会場とする ⑥年2回 ⑦地域おこし協力隊が主体となって実行委員会を運営、参加者の募集等を行う					
	まちづくり								
	つながりづくり	⑧ 多様な機関、団体等との連携を進めます	変更	26 ②本がある場所との連携 人が集まる場所との連携 —[例:だいかい文庫・専門職大学図書館] —[例:コープデイズ豊岡・但馬空港] ③様々な本に触れる機会を増やす ④全ての市民 ⑤イベントの共催、出張貸出等 ⑥随時					
	まちづくり	⑦ 地域にある各種団体等の活動の支援を行います							